

第7回協議会での指摘事項と対応方針

No.	指摘事項	対応方針
資料-1 名勝公園マネジメント計画について		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩所の近くに白色の自販機が設置されているが、自販機の色はメーカー各社で指定できると思うので、区から要望していただきたい。 ・老朽化したベンチについて、木製は老朽化が早いため、カラーの樹脂に変えると長持ちするのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自販機を設置している占有者からメーカーに色の申入れが可能か確認する ・現在新しく設置するベンチは、合成木材という非常に耐久性のある素材を使用している。今後新設するベンチも合成木材としたいと考えている。 ・日当たりのよい場所では、合成木材のベンチは（夏場に）熱くなりすぎて座れない場合もあるため、設置箇所の状況を見ながら順次取替を進めていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・本協議会では大人の観点から見た樹木や池の管理、文化財の保存、景観について論議をしているが、未来に向けて「こどもたちの観点」から見た洗足池を考えておかなければいけない。 ・こどもの日のシンボルであるこいのぼりを洗足池公園に設置して、4～5月に鑑賞できるようにしてはどうか。こいのぼりは現在では珍しいものになってしまっているため、協議会でマネジメント計画の中に取り入れていただきたい。 ・地域力推進千東地区委員会の洗足池公園を保全する分科会で今年の5月頃にこいのぼりの設置に関する意見が出て、地域基盤整備第三課からは検討するという回答があった。 ・各家庭で所有しているこいのぼりやひな人形の処置に困っているという話はよく聞くので、地域連携として、こいのぼりを区に寄付していただくのが良い。文化を守っていくことや、地域との連携は公園の将来を考えると重要だと思うので、ぜひ検討されてはどうか。 ・文化財の視点からこどもに洗足池に親しんでもらうことも検討を行う上で1つの視点かと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで本協議会ではゾーン別の保存計画を検討してきたが、今後、公園全体の活用計画を検討していくので、その中でこどもたちの観点も入れて検討していきたい。 ・洗足池を考える分科会で出た、こいのぼりのポールを立てられないかという意見は承っている。地域基盤整備第三課で検討した結果、既にガーデンパーティーの中で青少対の方々が設置するこいのぼりを地域のこどもたちが楽しんでいることもあり、新たにポールを設置することは難しい。 主旨を踏まえ代替案として、地域のイベントで場所をお貸しすることはできる。公園内の無料休憩所等で洗足池児童館や洗足池図書館と連携した季節の展示等ができないか、今後検討していく。 ・洗足池ではこどもの視点に立って考えることができていなかった。 ・昨日の大田区の別の会議でも、こどもたちが伸び伸び歩き回れる場所が少ないという意見が出た。 ・昨年度、大田区基本構想を策定した際のこどもたちの関心は公園にあり、児童公園やキャッチボールができる公園が欲

		<p>しいという意見が出ていた。こども連れで安心して回れるような公園を心がけなければいけないと思う</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・中原街道の歩道内に駐輪場が5年ぐらい前に設置されたが、景観が非常に気になっている。移設を検討いただいているようだが、早急をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・洗足池駅の周辺には、区で設営した駐輪場、東急で設置した駐輪場など、5か所に分かれて駐輪場がある。一括にまとめたり、景観に配慮した場所に移設したいという思いはあるが、移設先が見つかっていない。中原街道の駐輪場については以前から指摘をいただいているので、区でも真剣に考えており、今後進めていきたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場や洗足池の景観の問題は、東急と連携しないと発展していかないと思うが、東急との連携はどうなっているか。以前は東急から意見を頂いていたが、最近あまり話し合いが無いように見える。 ・駐輪場の移設先について、近くに東京電力の施設があるが、今は半分ぐらい使用されていないと思うので、活用できるのではないか。 ・駅前に駐車場とイベントスペースがあるが、様々な場所で触れ合いの場が増えており、池上線という有名な歌もあるので、その歌にちなんで触れ合いの場となるように計画していただきたい。 ・洗足池の松山にフィールドアスレチックができたらかどもは遊べるのではないか。 ・個人的な意見だが、ストリートピアノを設置し、皆が集まってピアノを弾けたら面白いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東急とは、鉄道・都市づくり課が話し合いをしているようだが、今のところ進展はないと聞いている。 ・連携の要望、東電の土地の活用、駅前スペースの活用など、頂いた意見をまちづくり部署にも共有し、進展させていきたい。 ・ピアノやアスレチックの設置については、今後の保存活用計画で議論していきたい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・シークエンス景観はグループのつながりがポイントであるため、A、B、C、Dがどうつながっていくかも考え方を共有しておいたほうが良い。例えば、池月橋(B)と水生植物園(D)は入り組んだ水面になっている。そうすると、Aのところは流れていく、Bは少し溜まる、Cはまた流れていく、Dはまた溜まるという繰り返しのつながりがあるため、全体として人がどう行動するかはシークエンス景観と併せて押さえておいたほうが良い。 ・“つながり”はAからB、BからCに移る、その境目が重要になる。例えばAからBに移るところには橋があり、BからCに移るところも弁天島に渡る橋があり、CからDに移る 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回以降の協議会でまた検討していきたい。

	<p>ところも木橋に分かれるたもとがある。橋があると、たもとに人が自ずと寄りつくという行動の性格がある。「橋詰」と呼ぶが、それぞれの橋のたもとを重点的に捉えて、改善の余地がないか検討したほうが良い。</p>	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・Dのところで園内灯、照明の老朽化という話があったが、老朽化している部分のみ取り替えるという発想ではなく、照明も連続して考えたほうが良い。写真を見たところ全体的に昭和の時代の雰囲気のままの照明に思われるので、将来的には夜間、夕方の利用も想定して、照明が名勝らしくどうあるべきかを考えるのが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回以降の協議会でまた検討していきたい。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日、「春宵の響」のメイン会場近くのメタセコイアの木の下や池周辺にセイタカアワダチソウが生えていた。外来種なので、環境面でも景観の面でも刈って来園者の目に入らないようにしたほうが良い。草刈りの時期・回数、ボランティアに協力してもらうなど今後検討いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本日指摘いただいた内容で、すぐに実施できることは区で早急に対応する。外来種の刈り取りは地域基盤整備第三課に申し入れて、至急実施したいと思う。 ・今後の草刈りについては、効果的な対応となるよう、実施時期や回数について、検討していく。 <p>(令和6年11月19日対応済み)</p>
資料-2 水環境改善対策実施計画について		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区では清水窪も含めて北側の住宅地、道路の透水性舗装や集水の側溝から池のほうへ流す土木工事を進めていると聞いている。透水性舗装はまだ実施できる場所が残っており、清水窪の湧水も今年は日照りで大分減っているようなので、周りから水がしみるように計画的に工事を進めて、水量確保についても検討したほうが良い。洗足池で水量が減ったら、ダメージが大きいので、最初から難しいと言わずに検討していただきたい。 ・透水性舗装などはグリーンインフラという国が推奨している事業の一環でもあるので、補助金が取れる可能性もある。洗足池などはグリーンインフラの一大拠点になるので、絶やさずに実施したほうが区にとって良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・洗足流れの水量が1日何トンであるかは把握している。ただ、他に透水した水が洗足池に流れ込んでいると想定しているが、流れ込むルートが把握できていない。 ・もともとあった柵渠で、どぶを使って碎石などを入れて流せるようにしているが、その水量を測定できないため、どのぐらいの水が透水して洗足池に流入しているか把握できていない。水量を増やす方法は、引き続き検討していきたい。 ・桜のプロムナード事業という洗足池から呑川までの間で実施している別事業があり、事業年度で場所を変えながら透水性舗装を進めている。洗足池周辺も透水性舗装を実施しているので、桜のプロムナード事業で今後検討する。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・底質の直接改善は、前回まで検討していなかった方法なので、新しい技術と推察するが、万能なものではなく、一長一短あると思う。資料2の左上の図で、今回の議論の段階は、「対策案の検討」となっているが、いきなり次の段階に進むわけではなく、もう一度中盤の段階にフィードバックしながら進むという理解で良いか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回提案した浄化手法で決定ということではなく、対策案の比較に戻って再度検討していきたいと考えている。
資料-3 洗足池公園増設地整備について		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、池に面しては、それほど石垣が無いが、奥のほうには立派な石が積んであるため、その石と違和感のないようにしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の選定等に注意して進めていく。
資料-4 景観構成重要木の伐採報告について		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日、洗足池を歩いていて切口がもろに見えていたが、今後どうなるのか。そのまま腐るのを待つのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伐根までを予定している樹木もあるが、各樹木の状況によって対応が異なる。 基本的には、植栽地内の伐採については、地際で伐採するに留める。また、擁壁、石垣等の際の伐採についても伐根は難しいため、伐採のみの対応としている。